

東港金属株式会社
東京都大田区京浜島2-20-4
電話 03-3790-1751
URL <http://www.tokometal.co.jp>
(見学受付)
電話03-3790-1751 又は 各営業担当

10月を迎えました。和名は神無月。10月は八百万(やおよろず)の神が出雲に集まるので、他の地方では神様が留守になる月との故事からついた名前とか。今年は大震災に加えて、猛暑・集中豪雨そして台風と、自然の脅威が日本列島に次々と苦難を強いています。台風は平年の数からいえばまだ何個か来るのでしょうか。今年には神様も出雲に出向くことはやめて、この日本列島を天災から守ってくださいますと祈らずにはいられません。

欧州の経済危機の余波も亦世界に影響を与えて不気味ですが、被災地を助けるためにも無事な地方の産業が頑張らなければならない時です。それは動脈産業ばかりではなく、静脈産業である廃棄物処理業も同じです。分ければ資源になるものが多くあります。「勿体ない」の心で、分別して排出しましょう。

残された資源をできる限り循環させるよう、東港金属株式会社は処理をお受けした産業廃棄物のリサイクル率を上げるために、輸送方法や処理工程の工夫をしています。身近なリサイクルパートナーとして、お気軽にご相談ください



☆羅針盤

鉄・非鉄スクラップ・市況からの10月予測

営業部 Y の考察

- 鉄スクラップ** 考察) 9月は、指標となる東京製鐵宇都宮工場の特級価格が2,500円/トン上げましたが、終盤から下がり、現状は、湾岸、高炉メーカーともに荷止めも出ています。10月はしばらく下がると推測します。しかし首都圏の建材需要の回復や自動車生産の好調から、後半は好転すると考えられます。
- 銅** 考察) LMEは9,100ドル/トンでスタートし、全般は200ドル/トンを超えるほどの上昇でしたが、中旬以降は徐々に値を下げ、リーマンショックの再来といわれるほどの下落となり、月末は何とか7,000ドル/トンで収まってくれています。10月は景気減速懸念が広がっており、さらなる下落があると見ています。
- アルミ** 考察) 銅と同様、世界情勢の先行き不安から9月は下がりました。新塊の価格が下がっていることも影響し、10月は間違いなく下落すると思われれます。
- プラスチック** 考察) 金属同様、9月後半から原油の暴落及び円高の影響から下がりだし、現状は中国等の買取り業者が買いを控えていることから、価格の下落だけでなく売り先確保が困難になることが予想されます。

現在の業界は、リーマンショック再来といわれるほど世界情勢は不透明です。金属・プラスチック共に在庫は禁物でしょう

9月予測の自己評価

| | | | |
|--------|---|--------|---|
| 鉄スクラップ | ○ | アルミ | × |
| 銅 | × | プラスチック | × |

☆羅針盤

廃棄物処理のトータルコスト

廃棄物は、家庭や産業界から不用品の排出・廃棄されてから、処理工程を経て、あるものは再生資源として循環され、あるものは最終処分場で埋め立てられます。再資源化ルートに乗った廃棄物は不用品ではなく、有用な資源として再び製品等に生まれ変わり新たな価値を我々に与えてくれます。

廃棄物処理業者は、その処理工程で廃棄物の中から出来るだけ多くの再資源化物を選び出すことが重要な役割であると考えております。これは結果として埋め立ての割合を減らし、いわゆるリサイクル率を向上し、そして処理費用を下げることに繋がってまいります。

再資源化物を他の廃棄物の中から選び出す(選別)には様々な方法が採られております。人手による選別は想像しやすく分かりやすいと思いますが、機械による選別は物理的な特性を利用して選別を行ないます。例を挙げますと磁力選別、風力選別、振動ふるい選別、色選別、渦電流非鉄金属選別、比重選別等の方式があり、実際にはこれらの方式を組み合わせ選別しておりますが、機械選別の場合はその選別方式に合った破碎等の事前処理が必要になります。人手であろうと機械方式であろうとも選別には当然費用が発生します。その費用を少なくするには、選別工程に入る前(機械選別であれば破碎等の事前処理の前)に出来る限り分けておくことです。すなわち排出事業者が排出する前に再資源化の対象となる物を分別しておくことが大事なこととなります。

しかし事前の分別には費用がかかります。以下で事前分別にかかる費用も含めたコストの概要を排出事業者として見てみましょう。

- ・分別しない混合排出物の処理費用をA とします。
- ・分別により再資源化される物の売却額をB とします。
- ・分別後にゴミとして処理が必要な物の処理費用をC とします。
- ・排出事業者が分別するために発生する費用をD とします。

排出事業者にかかる費用は、再資源化物の売却額Bと分別後にゴミとして排出する物の処理費用C及び分別するために発生する費用Dによって変わります。

分別後のゴミの処理費用Cと分別にかかった費用Dの合計から、再資源化物の売却額Bを引いた金額が、分別しなかった場合の混合排出物の処理費用Aよりも大きければ損(デメリット)、小さければ益(メリット)となります。



京浜島日記

(第9回)

わが社が東京都港区からこの京浜島に移転してきたのは昭和54年の事でした。私が5歳のころの事で、前々社長である祖父や前社長である父に開所前の建設途中の工場に連れてこられたのを今でも覚えています。

当時の京浜島は、まだ羽田空港と道路はつながっておらず、昭和島との橋も無かったと記憶しています。車の通日も少なく、人も殆ど居ませんでしたから、補助輪を外した自転車の練習を父にさせられたものでした。一方で飛行機は島の真上を通り大変うるさく、話が聞こえなかったものです。また、当時どういわけか京浜島にはたくさんの野犬がおりました。工場の門扉を空けると10匹近い野犬が吠えてきて大変怖かったです。そんな京浜島も随分変わりました。製造業の会社が減り、物流、産廃処理、空港関連駐車場、果てはペットホテル、ペットの葬儀場までできています。

私達も随分変わりました。移転してきた当初は、青銅関係のスクラップから青銅インゴットを製造していたのです。2次合金を低周波電気炉で精錬し、当初は連続鑄造して連鑄棒(部品素材にもっとも適した鑄鉄材)まで製造していました。京浜島が変わっていくように、東京における製造業が変わり、当社もそれに合わせて事業転換してきたのです。今後も状況に合わせて変わっていく事になるでしょう。

よく言われる事ですが、進化論を唱えたダーウィン曰く「最も強いものが生き残るのではなく、もっとも賢いものが生き延びるのでもない。唯一生き残るのは変化出来るものである。」という事です。私達はこれからも変化を恐れない会社でいたいと思っています。

福田 隆(代表取締役)

経験的には、事前分別をした場合は殆んど排出事業者の益(メリット)となっております。「混ざればゴミ、分ければ資源」であり、産業廃棄物の排出に際しては事前に分別することによりトータルコストで排出者はメリットを得ることが出来ます。

コストとエネルギー消費がリンクすると仮定すれば、トータルコストのセーブはトータルでのエネルギー使用量を低減することにも繋がり、トータル環境負荷を下げることにもなります。

すなわち、排出者にとって事前分別は、経費削減と環境負荷低減に貢献することになるのです。